

数量総括表

業務名	平成29年度 五輪大橋有料道路 橋梁修繕工事					事業区分	
						業務区分	
工事区分・工種・種別	細	別規格・算出式	単 位	当初数量	変更数量	数量増減	摘 要
橋梁修繕工							
伸縮継手修繕工							
伸縮継手修繕工			式				
	橋梁用伸縮継手設置工		m	9.4			
	除雪誘導板		枚	68			
	コンクリート(取り壊し)		m3	1.6			
処分費			式				
	コンクリート殻有筋		t	3.7			高沢産業(株) 長野工場
	現場発生品(既設伸縮継手)	アルミ合金	kg	135			
安全費							
	交通誘導警備員		人	9			

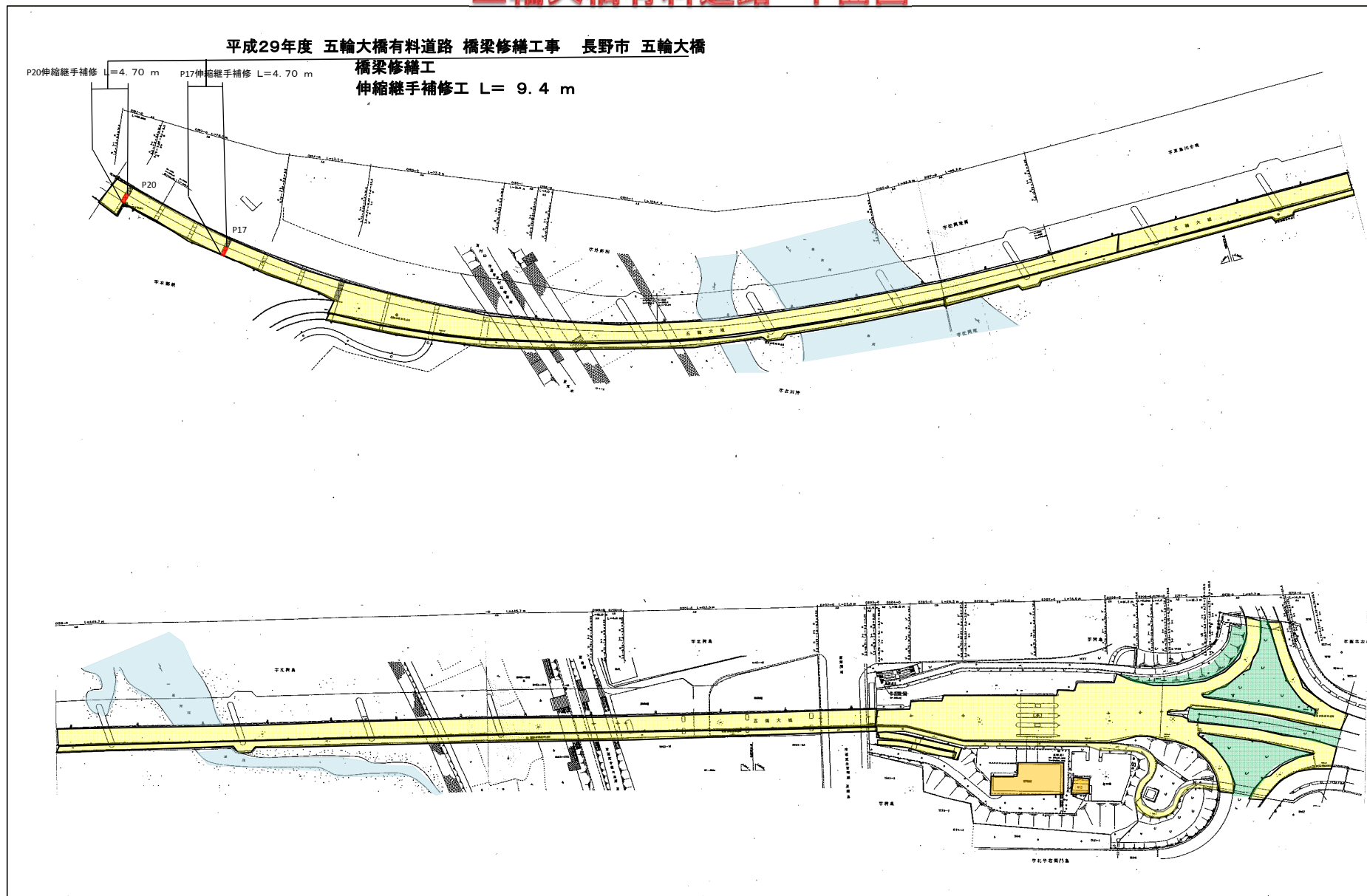
各種数量内訳書			
橋梁修繕工			
伸縮装置修繕			
橋梁用伸縮継手設置工	(P17,P20)	$4.70+4.70= 9.40\text{m}$	9.40 m
除雪誘導板		$34(\text{枚}/\text{ヶ所}) * 2(\text{ヶ所}) = 68\text{枚}$	68 枚
コンクリート(取り壊し)		$0.79\text{m}^3/\text{ヶ所} * 2\text{ヶ所} = 1.58$	1.6m ³
処理費			
コンクリート殻有筋		$1.58 * 2.35 = 3.71\text{t}$	3.7 t
現場発生品(既設伸縮継手等)	アルミ合金	$14.4\text{kg}/\text{m} * (4.70+4.70) = 135.36\text{kg}$	135 kg
安全費			
交通誘導警備員		$3\text{人}/\text{日} * 3\text{日} = 9\text{人}$	9 人

五輪大橋有料道路 平面図

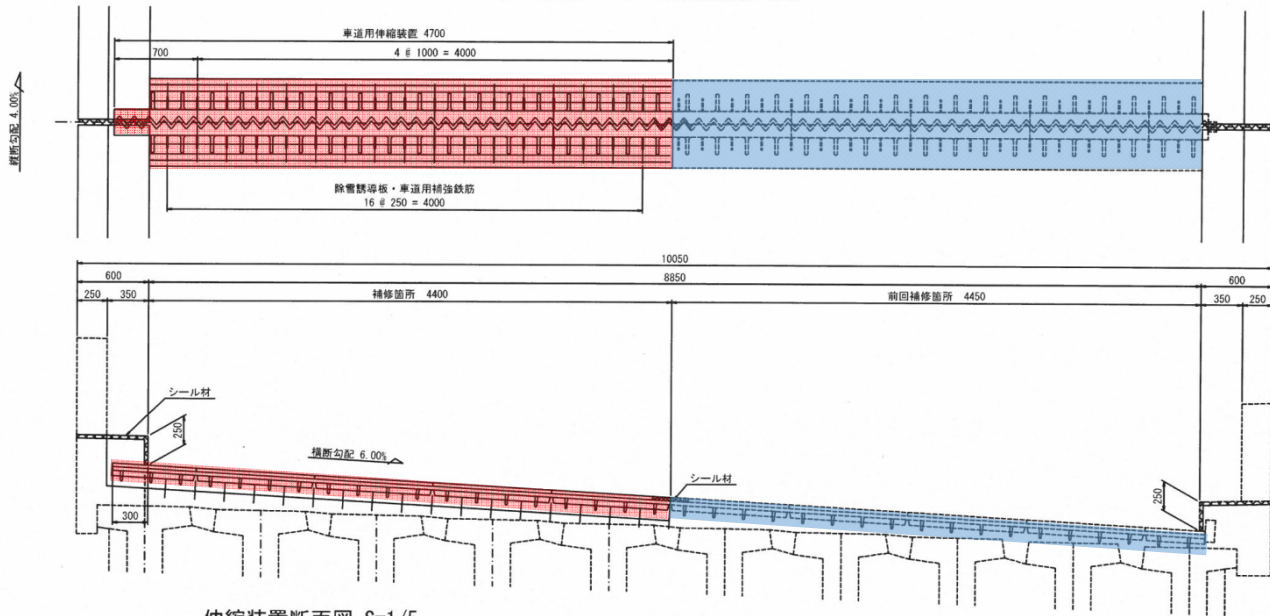
平成29年度 五輪大橋有料道路 橋梁修繕工事 長野市 五輪大橋

P20伸縮継手補修 L=4.70 m P17伸縮継手補修 L=4.70 m

橋梁修繕工
伸縮継手補修工 L= 9.4 m



P17橋脚上 伸縮装置 S=1/20



伸縮装置断面図 S=1/5

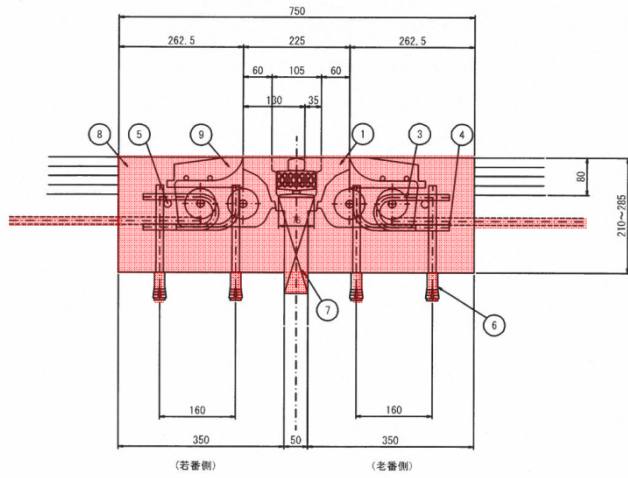
数量表 (1箇所当たり) × 1式					
番号	名称	材質	単位	数量	記号
1	車道用伸縮装置	アルミ合金積物	m	4.700	KMA-60タイプ
2	欠番				
3	車道用補強鉄筋	SD345	kg	9.30	D13 × 275 × 34本
4	車道用補強鉄筋	SD345	kg	9.64	D13 × 285 × 34本
5	車道用補強鉄筋	SD345	kg	41.18	D16 × 4.4m × 6本
6	打ち込みアンカー	SD345	本	68	D16鉄筋つき
7	遊間型枠	発泡スチロール	m ³	0.08	75 × 220 × 5.0m
8	後打コンクリート	超速硬コンクリート	m ³	0.79	σ3h = 24N/mm ²
9	除雪誘導板	SS400	枚	34	PL16 × 65 × 160
10	シール材	シリコン系	箇	2	

参考除去数量			
車道用伸縮装置	m	4.40	(参考重量) 14.4kg/m
後打コンクリート	m ³	0.79	

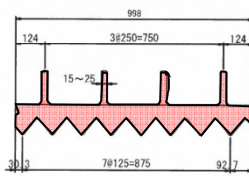
設計条件	
温度範囲	-15°C ~ +35°C
温度変化伸縮量	29.6mm
実時伸縮量	39.6mm

注記

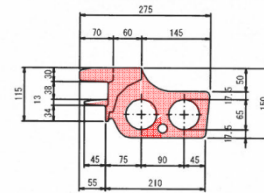
1. 施工において図面相当品とする
2. 伸縮装置の割付は変更することがある
3. カッター幅・ハツリ深さは現場の状況で変更のこと
4. 現場の鉄筋で代用可能な場合は打ち込みアンカーを不要とする
5. 既設の床版配筋筋は極力切断しないこと
6. 漏水軽減のための接続部にシール材を充填すること



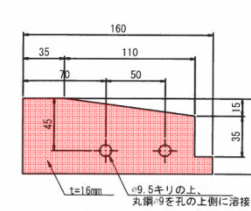
伸縮金物平面図 S=1/10



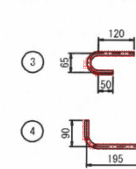
伸縮金物断面図 S=1/5



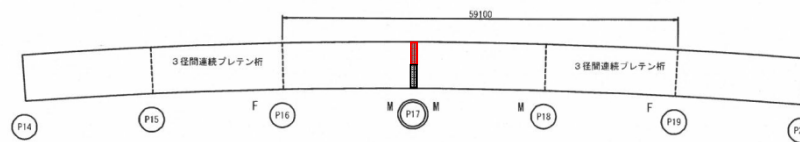
除雪誘導板詳細図 S=1/2



鉄筋加工図 S=1/8

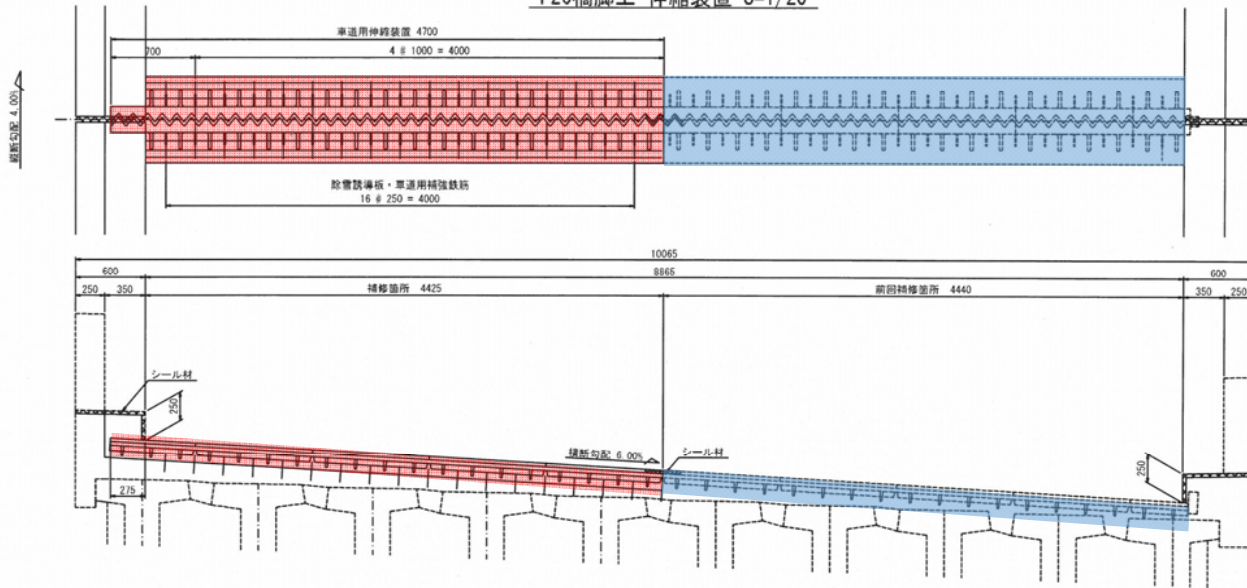


配置図



参考図

P20橋脚上 伸縮装置 S=1/20



数量表 (1箇所当たり) × 1式					
番号	名称	材質	単位	数量	記事
1	車道用伸縮装置	アルミ合金挿物	m	4.700	KMA-60タイプ
2	文巻				
3	車道用補強鉄筋	SD345	kg	9.30	D13 × 275 × 34本
4	車道用補強鉄筋	SD345	kg	9.64	D13 × 285 × 34本
5	車道用補強鉄筋	SD345	kg	41.18	D16 × 4.4m × 6本
6	打ち込みアンカー	SD345	本	68	D16鉄筋つき
7	道間型枠	発泡スチロール	m ³	0.08	75 × 200 × 5.0m
8	後打コンクリート	超硬種コンクリート	m ³	0.79	σ3h = 24 N/mm ²
9	除雪誘導板	SS400	枚	34	PL16 × 65 × 160
10	シール材	シリコン系	個	2	

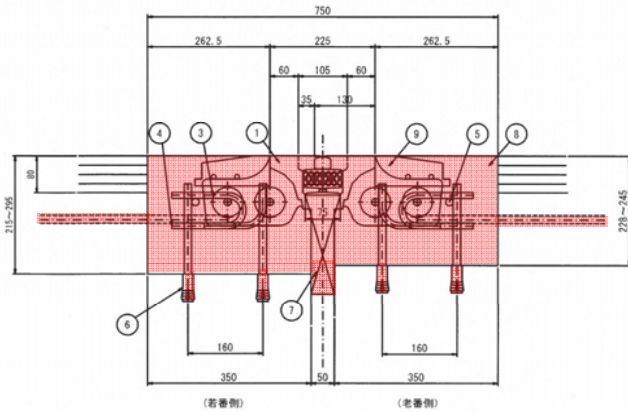
参考除去数量			
車道用伸縮装置	m	4.43	(参考重量) 14.4 kg/m
後打コンクリート	m ³	0.79	

設計条件	
温度範囲	-15°C ~ +35°C
温度変化伸縮差	21.5mm
常時伸縮量	31.5mm

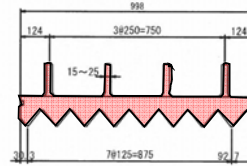
注記

1. 施工において図面相当品とする
2. 伸縮装置の割付は変更することがある
3. カッター幅・ハンリ深さは現場の状況で変更のこと
4. 現場の鉄筋で代用可能な場合は打込アンカーを不要とする
5. 既設の床版配筋は確力切しないこと
6. 漏水軽減のための接続部にシール材を充填すること

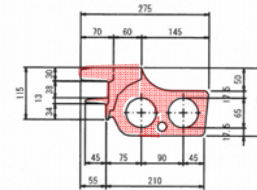
伸縮装置断面図 S=1/5



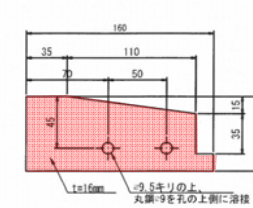
伸縮金物平面図 S=1/10



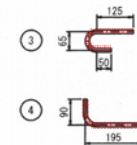
伸縮金物断面図 S=1/5



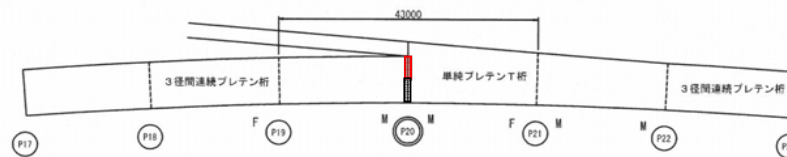
除雪誘導板詳細図 S=1/2



鉄筋加工図 S=1/8



配置図



参考図